

■ スマイルBOX

数野晴紀君

- ・米山記念奨学生のカエイハ君が、本日から藤枝南クラブが世話クラブとなりました。カウンセラーは樽井さんです。例会に参加の時は皆さん声をかけて下さいね。宜しくお願いします。 渡邊博文君
- ・先日のゴルフ同好会コンペでパートナーに恵まれ、優勝できました。これからもゴルフを続けたいと思います。 渡辺哲朗君

スマイル累計額 667,000円

■ 地区協議会報告



漆畑雄一郎君

4/14(日)地区研修・協議会に参加しました。通常であれば次年度のガバナー排出クラブの地元において集合型で開催されるので

すが、今回はたぶん初めての試みで、地区役員間を ZOOM で繋いだものを youtube で配信するという開催でした。

会長幹事向けの内容は前回の PETS とそれほど変わることがなかったので特筆するべきものはありませんが、ともかく My Rotary 上でクラブの目標設定を行いましようということをお願いしているという印象でした。PETS においても盛んに同じ事を発信していましたが、Rotary が 100 年の歴史を超えて、日本においてはメンバーが減少している昨今を考えるに変化していかねばならないのは致し方ないとは思いますが、個人的には釈然としないものが残るものがあります。

あと 2 ヶ月あまりで新年度が始まりますが、ガバナーノミニの排出年度にもなりますので、これら地区の方針を踏まえつつも藤枝南クラブとしての EnjoyRotary を忘れずにやっていきたいと思ひます。



内山淑夫君

今回の研修で改めてロータリークラブの活動の大きさについて驚かされるとともに、過去数十年間この活動を推し進めてきた先達であるロータリアンに敬意と友情を感じました。

さて、私は次年度は米山記念奨学委員会に所属します。今回の研修においてもどうしてもこの関係のスピーチに注視することとなりました。

米山梅吉記念館理事長である村松友吉さんのお話、米山記念奨学委員長長の三浦顕承さんの指針演説については感動して涙するほどでした。

1年間頑張ります。



早川清人君

令和 6 年 4 月 14 日開催された本年度 R I 地区研修・協議会において、RLI 分科会担当のクラブ・ラーニングファシリテーターとして参加したので、以下のとおり報告致します。

R L I (Rotary-Leadership-Institute) とは、ロータリー・リーダーシップ研究会のことであり、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するためのリーダーシップ開発プログラムのことです。

この R L I は組織化されていて、第 7510 地区で始まり、活動拠点となる本部は米国のニュージャージー州に置かれていて、日本国内においても R L I 日本事務局が設置されており、R L I の使命は、将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することを目指すものとなっています。

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動するためには、ロータリアン一人一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。つまり、R L I の目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔

軟性を育て、ロータリーを活性化することなのです。

このR L Iプログラムは、ディスカッション方式で実施される参加型の研修カリキュラムで構成され、段階的にテーマを設定して討論が展開されています。

さて、本地区での次年度の R L I 委員会の運営基本方針は「本地区における R L I の取り組みを、より充実させるために、一旦立ち止まり、過去の検証を踏まえた後、本地区における R L I のより良いあり方を模索し、挑戦することによって次のステージへの足掛かりとする」とのことで、具体的事業・行動計画は下記 7 項目が示されました。(提示された資料をそのまま転写)

(1) 上期、下期に各 1 クール(PART1~PART3)開催 締めくくりとして最後に卒後コースを 1 回開催

(2) 受講の利便性を図るため ZOOM 開催 卒後コースはリアル(静岡)開催

(3) 受講者数を各パート 36 名に限定(1 セッション 6 名×6 時限)

(4) FT は、24 名程度の構成でスタート(1 セッション 4 名×6 セッション)

(5) FT のレベル向上のための特化型研修会を実施

(6) 新規の受講者に対しては、基本 PART 1 → PART2→PART3 の順で受講いただく

(7) 各委員会とのコラボレーションの模索(会員増強委員会とはコラボによる事業予定済み)



鈴木照寛君

今回の地区協議会は、初のYouTube配信で、各自視聴となったことで、無事参加する事が出来ました。日曜日開催

なので、従来の現地開催型の地区協議会では、参加する事が難しい状況でした。さらには ZOOM 等のミーティング形式ではなく、一方向なので、気兼ねなく中座が可能でしたので、たいへんありがたかったです。

午後の部になり、小泉ガバナーエレクトよりガバナー補佐、会長・幹事に向けた訓話の後、いよいよ各委員会の活動方針発表です。全部で 11 の委員会がある中で、公共イメージ委員会はトップ

バナーとして甲府西の小野委員長が発表しました。委員会の活動方針として、四つのアクションプランを策定し、行動していくとの事です。

① マイロータリーの登録と活用の推進

60%⇒80% 600 人

② ブランドリソースセンターの活用

③ 奉仕活動など SNS や地元メディアで PR 地区オリジナルパンフレットの配布

④ 米山梅吉記念館の活用と継続的支援

この委員会のメインは、地区オリジナルのパンフレットの作成・配布になる。会員 1 名につき 10 枚程度配布する。ガバナー訪問時にお渡しする予定。

委員会メンバーは、総勢 4 名と非常に小さな委員会ですが、若い委員長のもと、ワンチームで積極的に活動していく気概を感じた所信でした。

クラブの委員会では、例年の活動を踏襲しつつ、杉山出向委員と密にして運営していきます。



桑原茂君

(奉仕活動委員会の方針)

奉仕活動委員会は 2620 地区が示すリーダーシッププラン(DLP)

に沿って活動します。

奉仕活動員会は、3つのチームに分かれて構成していますが、各グループやクラブへはワンチームとしてサポートさせていただきます。各クラブへのロータリー基本理念動画の提供、合同奉仕事業への同行、国際奉仕事業の相談、橋渡しなど多岐にわたり相談できる委員会としてお声かけください。

① 【基本理念チーム】

・昨年度作成したロータリーの基本理念の動画資料をブラッシュアップし、各クラブへ周知、学びの機会を作る

・奉仕活動セミナーにて、『ロータリーの基本理念について』の講和

・増強委員会と連携して、基本理念動画の新会員への学びの機会を作る

② 【社会奉仕チーム】

・地区グループ単位による合同奉仕事業の支援

・地区HPに地区内クラブの奉仕活動カレン

ダーを作成 (ROTARY at WORK) し、ほなクラブの奉仕活動への参加促進を図る

- ・災害ボランティア体制構築の推進
(グループ合同奉仕活動実施要項)

地域には一クラブでは対応が困難な課題や多くのクラブで行うことによってより大きな効果を生む課題があります。地域に根ざす Rotary の力を結集し、地域社会が本当に必要としている問題を解決に導きましょう。

③ 【国際奉仕チーム】

- ・地区内クラブの国際奉仕活動支援・協同参画推進
- ・海外RCとの合同グローバル補助金事業組立サポート
- ・3350 地区 (タイ・ベトナム・カンボジア・ミャンマー) との友好地区協定締結、グローバル補助金事業推進
- ・フィリピン 3820 地区との友情交換プログラム

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
4/26(金) 第 1548 回	地区協議会報告	小杉苑
5/10(金) 第 1549 回	会員卓話	理事会
5/17(金) 第 1550 回	外部卓話	小杉苑
5/24(金) 第 1551 回	IM 報告	小杉苑

今週の一言

桑原茂君



お題は、今続けていることというのですが、今も続けていることは結構あります。今日はそのうち

の一つをお話させていただきます。

(毎日体重計に乗る。)

朝起きてまずは歯を磨き顔を洗います。そのあと冬でも夏でもスッポンポンになって体重計に乗ります。

体重、体脂肪、筋肉量、体内年齢、内臓脂肪、基礎代謝率をカレンダーに書き写します。

もうこれを25年くらい続けています。

きっかけは32歳の時に患った脳幹梗塞という大病です。

半分の方は即死、残った半分の半分の方は重度の障がい者、残った4分の1の人が一応健常者と言えるくらいに回復・・・私はその4分の1に運よく入りました。

その時にお医者さんから次に脳梗塞になったら障害が重く出るから健康管理には気をつけなさいとお言葉をいただきました。

私は、健康で一日でも長生きしたい・・・ただその気持ちだけで毎日体重管理をしています。おかげさまであれから25年近くたちますが毎日を元気に楽しく過ごさせてもらっております。本当にありがたいことです。



ポールハリスフェロー



米山記念奨学生 賈永波君



(担当/森竹君)